

トマトの病害防除



定植後は、疫病と葉かび病が発生します。近年は葉かび病と似ているすすかび病も増加しています。

疫病は発病速度が速く、葉かび病とすすかび病は潜伏期間が長いため、発病後の後追い散布ではなかなか防除できません。

定植1ヶ月後から予防散布スタート！



定植約1ヶ月後(第2~3花房開花期)から予防散布を開始し、病気の立ち上がりを抑えましょう。

疫病・葉かび病・すすかび病の同時防除！



ダコニール1000は、予防&定期散布でこれら3病害を同時防除できます。他剤の耐性菌対策にも有効です。

耐性菌対策が必要です！



- やや低温で降雨が続くと2~3日で蔓延します。
- 薬剤耐性菌により防除の難しい病害です。



- 第3~4花房開花期から栽培中期に発生し、果実のなり疲れにより増加します。
- 薬剤耐性菌により防除の難しい病害です。

そっくり！
ダコニール1000でまとめて
防除しちゃいましょう！



- 葉かび病抵抗性トマト品種でも多発するので注意が必要です。

写真原図:木曾 翔

この印刷物の記載内容は2014年8月末日現在のものです。



【ダコニール1000 トマトでの使い方】

- 散布剤としての適用病害:疫病、葉かび病、すすかび病、灰色かび病、炭疽病、輪紋病、うどんこ病
- 4回まで散布できます。

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

ダコニール1000で
病気の同時防除&
耐性菌対策！



ダコニール普及会